

# 令和2年度 第4回本郷新記念札幌彫刻美術館運営協議会

## 議 事 録

日 時：令和3年3月12日（金） 午前10時～11時

会 場：本郷新記念札幌彫刻美術館 本館研修室

出席委員：中田三喜男（宮の森まちづくりセンター所長）、村上裕子（札幌市立三角山小学校 校長）、國松明日香（彫刻家）、竹本和子（札幌市立大倉山小学校 P T A 副会長）、木戸拓史（札幌市市民局文化部文化振興課 課長）、寺嶋弘道（本郷新記念札幌彫刻美術館館長）、以上6名

\*他にオブザーバーとして加藤香子氏（札幌市立大倉山小学校 P T A）出席

所 管 課：平将士（札幌市市民文化局文化部文化振興課振興係事務職員）

事 務 局：岩崎直人（本郷新記念札幌彫刻美術館業務係長）、山下秀幸（同業務係事務職員）、山田のぞみ（同業務係事務職員）

次 第：1 開会

2 議事

(1) 令和2年度本郷新記念札幌彫刻美術館事業報告

(2) 入館者アンケート集計

(3) 令和3年度本郷新記念札幌彫刻美術館主催事業

(4) 意見交換

(5) その他

3 閉会

当日配付資料：

- ・ 令和2年度本郷新記念札幌彫刻美術館運営協議会 委員名簿
- ・ 令和2年度第4回本郷新記念札幌彫刻美術館運営協議会 座席表
- ・ 令和2年度第4回本郷新記念札幌彫刻美術館運営協議会次第
- ・ 令和2年度本郷新記念札幌彫刻美術館事業報告
- ・ 入館者アンケート集計（下半期）
- ・ 令和3年度本郷新記念札幌彫刻美術館主催事業一覧
- ・ 令和2年度本郷新記念札幌彫刻美術館 施設修繕など実施状況
- ・ 令和2年度開催事業チラシ  
(3種: 「「芸術」の陰謀」「雪のあと・形のさき」「彫刻の設計図」)

議事内容：

(1) 令和2年度本郷新記念札幌彫刻美術館事業報告  
事務局より配付資料に基づき、3月10日現在の令和2年度事業の経過報告を行

った。

#### (2) 入館者アンケート集計

事務局より配付資料に基づき、令和2年度事業の入館者によるアンケートの集計について報告を行った。

#### (3) 令和3年度本郷新記念札幌彫刻美術館主催事業

事務局より配付資料に基づき、令和3年度事業計画について、企画錬成、進捗状況について報告を行った。

#### (4) 意見交換

竹本：造形教室の内容や指導方法は、学校教育における図工の時間とは異なり、子どもたち一人一人の自由を尊重してくれて、大変意義深い。

國松：ミュージアム・アート・フェアに関わらせてもらった。運営面について、売り上げの15%を美術館が取るというのは、いかがであったろうか。売り上げに応じてギャラリーによって上納金の増減があるのは不公平と思う。

中田：地域のホットキャンドルプロジェクトなどまちづくりセンターと美術館とが協働してなにかできたらよいと思う。地域に愛される美術館であって欲しい。

村上：来年度からGIGAスクールが始まり、オンラインで子ども同士がつながる時代を迎える。地域に根ざすという志向が薄くなるのかも知れないが、近くに美術館があるということが、子どもたちにとっても、地域にとっても宝だと思う。また、アート・フェアでは、芸術の森会場で扱っていた上嶋秀俊作品を、地域の方から寄贈を受け、さっそく校内に展示させてもらっている。子どもたちが想像を膨らませることのできる作品となっている。その橋渡しをしてくれたのも彫刻美術館であり、文化の拠点というようにも認識している。

木戸：アート・フェアについては予算工面の際に議会でも話題になった。同じようによく議会の話題に上ったり、質問を受けるのは、子どもたちの文化芸術との関わり。ハロー！ミュージアムはその代表的な例であるが、今年度から彫刻美術館では新しいコースが新設されて、よりその機会が創出されている。

寺嶋：補足説明として入館者数について言及する。今年度はコロナ禍にありながら17,000人を超えた。本館はなかなか載らない大台10,000人に載った。無料化月間のあった記念館は7,000人に迫る勢いである。

#### (5) その他

事務局より配付資料に基づき、令和2年度に行った施設の修繕や新設したものについて報告を行った。